

三種監発 - 26

平成23年8月31日

三種町長 三浦正隆 様

三種町監査委員 神馬 均

三種町監査委員 加藤 彦次郎

平成22年度三種町一般会計・特別会計・水道事業会計決算
並びに基金運用状況審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、平成22年度三種町一般会計・特別会計・水道事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める書類、各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

平成22年度三種町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

平成22年度三種町一般会計歳入歳出決算
平成22年度三種町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町老人保健特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町土地取得特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町衛生処理事業特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町温泉事業特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算
平成22年度三種町財産に関する調書

2. 審査の期間

平成23年7月27日から8月11日まで

※ 実施日 7月27・28・29日

8月1・2・4・5・8・9・10・11日（11日間）

3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成22年度三種町一般会計・特別会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、地方自治法、同法施行規則、その他関係法令に準拠して調製されているか、その内容及び計数が関係諸帳簿、証拠書類と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された三種町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、誤りがないものと認めた。

1. 総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算は、次のとおりである。

表A

(単位：千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
予 算 現 額	11,612,598	6,718,313	18,330,911
決 算 額			
歳 入 額	11,082,781	6,712,892	17,795,673
歳 出 額	10,771,828	6,506,652	17,278,480
歳入歳出差引額	310,953	206,239	517,192

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

表B

(単位：千円)

区 分	2 2 年 度	2 1 年 度	増 減 額	増 減 率
歳 入 額	17,795,673	17,570,543	225,130	1.28%
歳 出 額	17,278,480	17,139,066	139,414	0.81%
差引増減	517,192	431,477	85,715	19.87%

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

決算額規模を前年度と比較すると、表Bのとおり歳入は1.28%、歳出は0.81%、差引残額は19.87%と全て上回っている。

(2) 決算収支

総計決算における歳入歳出差引額は、517,192千円の黒字となっているが、翌年度へ繰り越しすべき財源168,672千円が含まれており、これを差引いた348,520千円が実質剰余金となっている。

この実質収支を前年度(322,760千円)と比較すると25,760千円(8.0%)の増となっている。

(3) 予算の執行状況

歳入決算額17,795,673千円は、総予算額18,330,911千円に対し、535,238千円の減収で、収入率は97.1%となっている。また、調定額18,310,768千円に対する収入率は97.2%(前年度97.3%)となっている。

収入未済額471,043千円は、前年に比し、9,713千円の増となっている。なお、不納欠損額は44,052千円(前年度34,258千円)である。

歳出決算額17,278,480千円は、総予算額に対し94.3%(前年度93.9%)の執行率で、517,192千円を翌年度へ繰り越しし、不用額は367,145千円(前年度272,941千円)となっている。

(4) 財政構造

財政構造について、地方財政状況調査表（普通会計決算）によって分析すると次のとおりである。

ア 歳入の構成

自主財源と依存財源の構成比をみると、次表のとおり自主財源の構成割合は22.7%で、前年に比し2.1ポイントとわずかに上昇している。

(単位：千円、%)

区 分	平成 22 年 度		平成 21 年 度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
自 主 財 源	2,520,699	22.7	2,319,557	20.6
依 存 財 源	8,559,770	77.3	8,953,576	79.4
計	11,080,469	100.0	11,273,133	100.0

自主財源は、町税 1,414,906 千円、使用料・手数料 151,050 千円、諸収入 354,828 千円などである。

依存財源は、地方交付税 5,482,528 千円、国庫支出金 1,149,949 千円、県支出金 767,536 千円などである。

イ 歳出の構成

歳出決算額を性質別に分類し、前年度と対比して示すと次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	年 度	平成 22 年 度		平成 21 年 度		対 前 年 比		
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	増 減 率	
義 務 的 経 費	人 件 費	1,769,055	16.4	1,828,657	16.7	△ 59,602	△ 3.3	
	扶 助 費	968,101	9.0	802,215	7.3	165,886	20.7	
	公 債 費	1,664,770	15.5	1,790,230	16.3	△ 125,460	△ 7.0	
計		4,401,926	40.9	4,421,102	40.3	△ 19,176	△ 0.4	
投 資 的 経 費	普 通 建 設 事 業 費	835,663	7.8	1,472,089	13.4	△ 636,426	△ 43.2	
	内	補 助	462,674	4.3	637,941	5.8	△ 175,267	△ 27.5
		単 独	295,589	2.7	786,198	7.2	△ 490,609	△ 62.4
	災 害 復 旧 事 業 費	80,158	0.7	19,186	0.2	60,972	317.8	
計		915,821	8.5	1,491,275	13.6	△ 575,454	△ 38.6	
そ の 他 の 経 費	物 件 費	1,335,991	12.4	1,368,909	12.5	△ 32,918	△ 2.4	
	補 助 費 等	1,321,403	12.3	1,545,874	14.1	△ 224,471	△ 14.5	
	そ の 他	2,792,910	25.9	2,132,701	19.5	660,209	31.0	
計		5,450,304	50.6	5,047,484	46.1	402,820	8.0	
合 計		10,768,051	100.0	10,959,861	100.0	△ 191,810	△ 1.8	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

義務的経費 4,401,926 千円は、前年度に比べ 19,176 千円 (0.4%) の減となっている。

投資的経費 915,821 千円は、前年度に比べ 575,454 千円 (38.6%) の減となっている。

その他経費 5,450,304 千円は、前年度に比べ 402,820 千円 (8.0%) の増となっている。

ウ 財政分析

健全な財政運営の要件とされる普通会計における主な財務比率の年度別推移は、次のとおりである。

(単位：%)

区 分 年 度	財 政 力 指 数	経 常 収 支 比 率	経常一般財源 比 率	公 債 費 比 率
22	0.27	81.5	91.8	12.9
21	0.28	89.1	92.1	16.2
20	0.29	94.8	95.0	17.6

※ 指数の算定にあたっては、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を含む。

- 財政力指数 … 指数が大きければ税収が豊かなことを示し、1以下であれば、税収不足を示している。
前年に比べ0.01ポイント低下し、0.27%となっている。
- 経常収支比率 … 財政構造の弾力性の指標として用いられ、通常75%程度に収まることが望ましいとされている。
前年比に比べ7.6ポイント改善され、81.5%となっている。
- 経常一般財源比率 … 標準財政規模に対する経常一般財源の割合。この比率は、100を超える度合いが高いほど経常一般財源に余裕があり、したがって歳入構造に弾力性があることが示される。
- 公債費比率 … 公債費に充てられた一般財源の一般財源総額に対する割合で、年々改善されてきており、前年に比べ3.3ポイント改善され、12.9%となっている。

(5) 町債の状況

町債の状況は次表のとおりで、当年度末の残高は21,069,239千円となり、前年度末に比して795,069千円減少している。

(単位：千円)

区 分	21年度末 残 高	22年度中		22年度末 残 高	
		発行額	償還額		
一 般 会 計	12,047,969	788,200	1,477,750	11,358,419	
特 別 会 計	簡易水道事業	1,708,966	214,700	326,819	1,596,847
	公共下水道事業	6,122,667	177,000	329,031	5,960,636
	農業集落排水事業	1,119,159	265,200	45,726	1,338,632
	土地取得	13,476	0	6,736	6,740
	計	8,954,268	656,900	708,312	8,902,855
水道事業会計	862,073	0	54,107	807,965	
合 計	21,864,310	1,445,100	2,240,169	21,069,239	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

22年度末残高を、23年7月末現在の住基台帳(19,438人)をもとに勘案すると、

人口1人当たり町債残高 584,341円(一般会計)

〃 1,083,920円(特別会計、水道会計含む)

本年度の償還額は、21年度に比べ30,468千円(1.3%)減となっている。

(6) 債務負担行為の状況

(単位：千円)

区分	限度額	支出状況			翌年度以降 支出予定額
		21年度まで	平成22年度	不用額	
一般	2,198,944	1,453,931	141,098	7,382	596,533
簡水	48	0	24	0	24
下水	1,906	1,013	414	0	479
農集	0	0	0	0	0
合計	2,200,898	1,454,944	141,536	7,382	597,036

翌年度以降支出予定額597,036千円は、21年度579,211千円と比べ17,825千円、率にして3.0%増えている。

2. 一般会計

平成22年度の決算状況は、歳入 11,082,781 千円、歳出 10,771,828 千円、歳入歳出差引残高 310,953 千円である。

差引残高のうち、翌年度に繰り越しすべき財源 168,498 千円が含まれており、これを差し引いた 142,455 千円が実質剰余金となる。

ア 歳入の状況

歳入予算のうち、町税の執行状況は次表のとおりである。

(単位：千円、%)

	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
町 民 税	470,552	529,277	469,240	4,163	55,874	88.6
個人	426,601	481,550	423,728	4,163	53,659	88.0
法人	43,951	47,727	45,512	0	2,215	95.4
固定資産税	752,490	929,325	756,357	17,222	155,746	81.4
軽自動車税	47,231	52,403	47,522	638	4,243	90.7
たばこ税	93,489	93,489	93,489	0	0	100.0
特別土地保有税	1	0	0	0	0	0
入湯税	48,215	48,299	48,299	0	0	100.0
計	1,411,978	1,652,793	1,414,907	22,023	215,863	85.6
※前年度	1,369,174	1,648,660	1,427,875	15,824	204,961	86.6

予算の執行については、予算現額 1,411,978 千円、調定額 1,652,793 千円に対し、収入済額 1,414,907 千円で、予算に対する収入率が 100.2%、調定に対する収納率が 85.6%である。

不納欠損額は、22,023 千円となっているが、その内容は生活困窮者や所在不明者など、徴収困難でやむを得ないものと報告を受けている。

収入未済額については、前年度と比較して 10,902 千円の増となっている。

イ 歳出の状況

歳出予算の執行状況は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度	平成21年度
予 算 現 額	11,612,598	11,936,090
支 出 済 額	10,771,828	11,050,687
繰 越 明 許 額	669,522	754,132
不 用 額	171,249	131,271
予 算 執 行 率	92.8	92.6

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

予算の執行については、予算現額 11,612,598 千円に対し、支出済額 10,771,828 千円で、予算執行率は 92.8%（前年度は 92.6%）となっている。

不用額は 171,249 千円で、前年度より 39,978 千円増加している。

3. 特別会計

平成22年度各特別会計歳入総額は6,712,892千円、歳出総額が6,506,652千円で、歳入歳出差引額206,239千円となっている。

一般会計より特別会計に繰り入れした総額は1,078,643千円となっている。

各特別会計別の執行状況は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	歳 入	歳 出	歳 出 執 行 率	差 引 残 高	一般会計からの 繰 入 金
国民健康保険	2,618,215	2,456,123	94.1	162,092	208,830
老人保健	973	625	63.1	348	332
後期高齢者医療	157,497	156,592	99.2	905	70,567
簡易水道	467,237	451,462	98.3	15,775	109,190
下水道	591,069	589,318	97.6	1,751	273,703
農業集落排水	550,472	548,225	99.2	2,247	62,865
土地取得	7,016	7,016	100.0	0	7,016
介護保険	2,217,315	2,196,437	99.1	20,878	298,810
介護サービス	31,372	30,656	94.2	716	14
衛生処理	19,702	18,237	94.2	1,465	15,674
温泉	20,383	20,325	79.2	58	0
国保診療所	31,642	31,642	100.0	0	31,642
計	6,712,892	6,506,652	96.9	206,239	1,078,643

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

(1) 三種町国民健康保険事業勘定特別会計

歳入総額2,618,215千円、歳出総額2,456,123千円で、差引残高162,092千円は翌年度に繰り越しとなる。

国民健康保険税の収納状況は、調定額619,891千円に対し、収入済額は483,207千円で、収納率は77.9%（前年度77.4%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め117,384千円となっており、前年度より5,483千円減少した。

しかし、不納欠損額は19,301千円（前年度16,119千円）となっており、3,182千円増えている。その内容は、所在不明者や生活困窮者など徴収困難でやむ得ないものと報告を受けている。

歳出については、予算現額2,609,767千円に対し、歳出総額2,456,123千円で、執行率94.1%（前年度96.8%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より208,830千円が繰り入れられている。

(2) 三種町老人保健特別会計

歳入総額973千円、歳出総額625千円で、差引残高348千円となっている。この特別会計は本年度で終了することから、差引残高は一般会計に引き継ぐことになっている。

歳出については、予算現額991千円に対し、歳出総額625千円で、執行率63.1%（前年度98.9%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より332千円が繰り入れられている。

(3) 三種町後期高齢者医療特別会計

歳入総額 157,497 千円、歳出総額 156,592 千円で、差引残高 905 千円は翌年度に繰り越しとなる。

保険料（普通徴収）の収納状況は、調定額 87,298 千円に対し、収入済額は 86,112 千円で、収納率は 98.6%（前年度 96.1%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め 1,100 千円となっており、前年度より 121 千円増えている。また、前年度にはなかった不納欠損額が 86 千円発生している。

歳出については、予算現額 157,895 千円に対し、歳出総額 156,592 千円で、執行率 99.2%（前年度 99.4%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 70,567 千円が繰り入れられている。

(4) 三種町簡易水道事業特別会計

歳入総額 467,237 千円、歳出総額 451,462 千円で、差引残高 15,775 千円のうち翌年度に繰り越すべき財源 156 千円が含まれており、差し引いた 15,619 千円が翌年度に繰り越しとなる。

使用料の収納状況は、調定額 142,171 千円に対し、収入済額が 138,921 千円で、収納率は 97.7%（前年度 96.7%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め 3,251 千円となっており、前年度より 1,121 千円減少した。

歳出については、予算現額 459,330 千円に対し、歳出総額 451,462 千円で、執行率 98.3%（前年度 95.4%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 109,190 千円が繰り入れられている。

(5) 三種町公共下水道事業特別会計

歳入総額 591,069 千円、歳出総額 589,318 千円で、差引残高 1,751 千円のうち翌年度に繰り越すべき財源 18 千円が含まれており、差し引いた 1,733 千円が翌年度に繰り越しとなる。

使用料及び分担金の収納状況は、調定額 218,907 千円に対し、収入済額が 140,365 千円で、収納率は使用料で 76.9%（前年度 77.3%）、分担金 21.0%（前年度 31.9%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め、使用料で 38,973 千円、分担金で 39,568 千円となっており、前年度より使用料が 2,268 千円、分担金で 1,965 千円とそれぞれ増えている。なお、現年度分の使用料未納額は 3,566 千円である。

歳出については、予算現額 604,093 千円に対し、歳出総額 589,318 千円で、執行率 97.6%（前年度 98.0%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 273,703 千円が繰り入れられている。

(6) 三種町農業集落排水事業特別会計

歳入総額 550,472 千円、歳出総額 548,225 千円で、差引残高 2,247 千円は翌年度に繰り越される。

使用料及び分担金の収納状況は、調定額 20,854 千円に対し、収入済額が 15,027 千円で、収納率は使用料で 96.5%（前年度 96.6%）、分担金で 0.0%（前年度 18.7%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め、使用料で 544 千円、分担金で 5,284 千円となっている。

歳出については、予算現額 552,584 千円に対し、歳出総額 548,225 千円で、執行率 99.2%（前年度 80.3%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 62,865 千円が繰り入れられている。

(7) 三種町土地取得事業特別会計

歳入総額 7,016 千円、歳出総額 7,016 千円で、差引残高 0 千円となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 7,016 千円が繰り入れられている。

(8) 三種町介護保険事業勘定特別会計

歳入総額 2,217,315 千円、歳出総額 2,196,437 千円で、差引残高 20,878 千円は翌年度に繰り越しとなる。

介護保険料の収納状況は、調定額 314,565 千円に対し、収入済額が 307,083 千円で、収納率は 97.6% (前年度 72.5%) となっている。

収入未済額は、過年度分も含め、5,563 千円となっており、前年度より 400 千円増えた。

不納欠損額が 1,919 千円 (前年度 2,232 千円) となっており、313 千円減少した。

歳出については、予算現額 2,217,427 千円に対し、歳出総額 2,196,437 千円で、執行率 99.1% (前年度 98.4%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 298,810 千円が繰り入れられている。

(9) 三種町介護サービス事業勘定特別会計

歳入総額 31,372 千円、歳出総額 30,656 千円で、差引残高 716 千円は翌年度に繰り越しとなる。

歳出については、予算現額 32,533 千円に対し、歳出総額 30,656 千円で、執行率 94.2% (前年度 97.3%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 14 千円が繰り入れられている。

(10) 三種町衛生処理事業特別会計

歳入総額 19,702 千円、歳出総額 18,237 千円で、差引残高 1,465 千円は翌年度に繰り越しとなる。

使用料の収納状況は、調定額 3,538 千円に対し、収入済額が 3,538 千円で、収納率は 100.0% (前年度 100.0%) となっている。

歳出については、予算現額 19,370 千円に対し、歳出総額 18,237 千円で、執行率 94.2% (前年度 89.6%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 15,674 千円が繰り入れられている。

(11) 三種町温泉事業特別会計

歳入総額 20,383 千円、歳出総額 20,325 千円で、差引残高 58 千円は翌年度に繰り越しとなる。

温泉使用料の収納状況は、調定額 28,354 千円に対し、収入済額 17,768 千円で、収納率は 62.7% (前年度 71.4%) となっている。

温泉使用料の収入未済額は、過年度分も含め、10,586 千円となっており、前年度より 2,171 千円増えている。これは、現年度分の未納額が 2,717 千円発生したことに起因する。

歳出については、予算現額 25,664 千円に対し、歳出総額 20,325 千円で、執行率 79.2% (前年度 92.7%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計の繰り入れはない。

(12) 三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計

歳入出総額 31,642 千円、歳出総額 31,642 千円で、差引残高は 0 千円となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 31,642 千円が繰り入れられている。

以上、各会計とも予算執行は、適正に行われたものと認めた。

平成22年度三種町基金運用状況に関する審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

漁業振興基金、高額療養費資金貸付基金、奨学資金貸付基金

2. 審査の期間

平成23年7月27日から8月11日まで

※ 実施日 8月11日（1日間）

3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成22年度の各基金の運用状況を示す書類について、その内容及び計数が関係諸帳等と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された平成22年度の各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿等と符合した結果、誤りがないものと認めた。また、各基金の運用状況は妥当であると認めた。

以下、その概要を報告する。

(1) 漁業振興基金

この基金は、町内の漁業振興のために行われる公共事業又は公共的事業において、漁業団体又は漁業者に対し義務的に課せられる分担金の資金として町が行う貸し付けの源資として運用される資金に充てるために設置されたもので、基金額700万円で運用されている。

なお、当年度の運用はない。

(2) 高額療養費資金貸付基金

この基金は、法令に基づく高額療養費支給制度の適用を受ける者で、医療費の支払が困難なものに対して資金を貸し付けることにより、経済的負担を緩和し、民生の安定を図るために設置されたもので、基金額200万円で運用されている。

なお、当年度の運用はない。

(3) 奨学資金貸付基金

この基金は、本町に住所を有する修学者又は入学のために住所変更した修学者に対し奨学資金を貸し付けすることにより向学心を振起し、もって三種町教育の振興を図るために設置されたもので、当年度は105,575,558円で運用された。（基金額は1億5千万円以内としている）

年度中の貸付額は11,160,000円、対象人数は33人となっており、過年度も含めた年度中の償還額は11,416,000円、対象人数は105人となっている。このことから、年々未償還額が増えていることが伺える。

決算年度末残高が105,577,686円となっており、当初と比べると2,128円増えているが、これは基金の運用で生じた利子分である。

(4) 各基金の状況

平成22年度三種町各基金の運用状況は、次のとおりである。

(単位:円)

基金の名称	前年度末 現在高	年度中増減額			決算年度末 現在高	決算年度末現在管理状況		
		現金	債権	貸付金		現金	債権	貸付金
財政調整基金	760,936,731	300,583,766	619,646,000	0	1,681,166,497	553,730,497	1,127,436,000	0
減債基金	1,131,054	682	0	0	1,131,736	1,131,736	0	0
ふるさと元気 づくり基金	1,745,000	1,041	70,000	0	1,816,041	1,746,041	70,000	0
住民生活に光を そそぐ基金	0	42,388,000	0	0	42,388,000	42,388,000	0	0
漁業振興基金	7,000,000	0	0	0	7,000,000	7,000,000	0	0
国民健康保険 事業財政調整基 金	42,444	184	0	0	42,628	42,628	0	0
農業集落 排水事業 財政調整基金	31,655,375	△ 10,931,299	22,300,000	0	43,024,076	20,724,076	22,300,000	0
介護給付費 準備基金	25,179,243	△ 24,972,544	5,000,000	0	5,206,699	205,989	5,000,710	0
介護従事者 処遇改善 臨時特例基金	8,812,060	△ 4,393,725	0	0	4,418,335	4,418,335	0	0
温泉事業 財政調整基金	4,250,456	△ 224,907	△ 471,000	0	3,554,549	3,554,549	0	0
高額療養費 資金貸付基金	2,000,000	0	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0
奨学資金 貸付基金	105,575,558	258,128	0	△ 256,000	105,577,686	10,508,686	0	95,069,000
合計	948,327,921	302,709,326	646,545,000	△ 256,000	1,897,326,247	647,450,537	1,154,806,710	95,069,000

12 基金

平成22年度三種町水道事業会計決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

平成22年度三種町水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成23年7月27日から8月11日まで

※実施日 8月4日（1日間）

3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成22年度三種町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び付属明細書、事業報告書、資産に関する調書について、関係法令に準拠して調製されているか、その内容及び計数が関係諸帳簿、証拠書類と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された三種町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び付属明細書、事業報告書、資産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている諸計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、誤りがないものと認めた。

以下、その概要を報告する。

1. 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位：円、%)

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
営業収益	89,447,000	81,998,317	77,042,743	0	4,955,574	94.0
1. 給水収益	85,063,000	78,302,831	76,728,076	0	1,574,755	98.0
2. その他営業収益	4,384,000	3,695,486	314,667	0	3,380,819	8.5
営業外収益	55,553,000	55,609,244	55,609,244	0	0	100.0
1. 受取利息及び配当金	100,000	71,431	71,431	0	0	100.0
2. 一般会計補助金	55,284,000	55,283,517	55,283,517	0	0	100.0
3. 加入金	168,000	254,000	254,000	0	0	100.0
4. 雑収益	1,000	296	296	0	0	100.0
合 計	145,000,000	137,607,561	132,651,987	0	4,955,574	96.4

(収益的支出)

(単位：円、%)

科 目	予算現額	支出済額	不用額	執行率
営業費用	117,780,000	111,964,868	4,017,529	95.1
1. 原水費及び浄水費	21,531,000	19,638,450	867,300	91.2
2. 配水及び給水費	6,043,000	3,718,268	2,037,852	61.5
3. 総係費	23,158,000	21,562,473	1,110,165	93.1
4. 減価償却費	66,671,000	66,668,976	1,928	100.0
5. 資産減耗費	377,000	376,701	284	99.9
営業外費用	49,815,000	48,461,656	553,646	97.3
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	48,462,000	48,461,656	327	100.0
2. 雑支出	50,000	0	47,619	0.0
3. 消費税	1,303,000	0	505,700	0.0
特別損失	50,000	21,485	26,133	43.0
1. 固定資産売却損	0	0	0	0.0
2. 過年度損益修正損	50,000	21,485	26,133	43.0
予備費	0	0	0	0.0
1. 予備費	0	0	0	0.0
合 計	167,645,000	160,448,009	4,597,308	95.7

※収益的収入及び支出の予算現額以外の金額は、消費税額を除いた額を記載しているため、金額の整合性に欠けるものもある。

(2) 損益計算書の比較

(単位：千円)

科 目	平成 2 2 年度		平成 2 1 年度		差引増減
営業収益					
1. 給水収益	78,303		94,676		
2. その他営業収益	3,695	81,998	403	95,079	△ 13,081
営業費用					
1. 原水費及び浄水費	19,638		15,625		
2. 配水及び給水費	3,718		5,135		
3. 受託工事費	0		0		
4. 総係費	21,562		23,149		
5. 減価償却費	66,669		60,635		
6. 資産減耗費	377	111,964	0	104,544	7,420
営業利益	△ 29,966		△ 9,465		△ 20,501
営業外収益					
1. 受取利息及び配当金	71		106		
2. 一般会計補助金	55,284		56,380		
3. 加入金	254		0		
4. 雑収益	0	55,609	2,937	59,423	△ 3,814
営業外費用					
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	48,462		51,458		
2. 繰延勘定償却	0		0		
3. 雑支出	0	48,462	47	51,505	△ 3,043
経常収益	△ 22,819		△ 1,547		△ 21,272
特別利益					
1. 固定資産売却益	0		0		
2. 過年度損益修正益	0		0		
3. その他特別利益	0	0	0	0	0
特別損失					
1. 固定資産売却損	0		0		
2. 過年度損益修正損	21		0		
3. その他特別損失	0	21	0	0	21
当期純利益	△ 22,840		△ 1,547		△ 21,293

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

(3) 貸借対照表の比較

(単位：千円)

科 目	平成22年度	平成21年度	差引増減
(資産の部)			
固定資産			
(1)有形固定資産			
1. 土地	105,703	105,703	
2. 建物	130,017	180,229	
3. 構築物	1,539,089	1,381,316	
4. 機械及び装置	340,758	348,320	
5. 車輛運搬具	8,955	283	
6. 建設仮勘定	0	2,015,851	108,671
(2)無形固定資産			
1. 電話加入権	144	144	0
(3)投資			
1. 預託金	39	0	39
固定資産合計	2,124,705	2,015,995	108,710
流動資産			
(1)現金預金	166,260	195,508	△ 29,248
(2)未収金	42,018	23,928	18,090
(3)貯蔵品	0	0	0
(4)その他流動資産	0	500	△ 500
流動資産合計	208,278	219,936	△ 11,658
繰延勘定			
繰延勘定合計	0	0	0
資産の部合計	2,332,983	2,235,931	97,052
(負債の部)			
固定負債			
(1)企業債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
流動負債			
(1)一時借入金	0	0	0
(2)未払金	4,325	1,360	2,965
(3)未払費用	0	0	0
(4)前受金	0	23	△ 23
(5)その他流動負債	41,790	22,330	19,460
流動負債合計	46,115	23,713	22,402
負債の部合計	46,115	23,713	22,402
(資本の部)			
資本金			
(1)自己資本金	504,783	495,141	9,642
(2)借入資本金			
1. 企業債	807,965	862,073	△ 54,108
資本金合計	1,312,748	1,357,214	△ 44,466
剰余金			
(1)資本剰余金			
1. 受贈財産評価額	597	598	
2. 工事負担金	0	0	
3. 国庫補助金	795,699	779,421	
4. 一般会計補助金	146,679	0	
5. 一般会計負担金	13,008	0	
6. その他資本剰余金	20,949	54,957	141,956
(2)利益剰余金			
1. 減債積立金	15,000	15,000	
2. 利益積立金	0	0	
3. 建設改良積立金	0	0	
4. 当年度未処分利益	△ 17,811	5,029	△ 22,840
剰余金合計	974,121	855,005	119,116
資本の部合計	2,286,869	2,212,219	74,650
負債・資本合計	2,332,984	2,235,932	97,052

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

2. 個別意見

(1) 収益的収入及び支出

調定額137,607千円、支出総額160,448千円、差し引き22,841千円の赤字となった。前年度の繰越利益5,029千円があるため、当期未処分利益は17,811千円の赤字繰越となる。

営業収益の水道料金は、調定額78,303千円に対し、収入済額が76,728千円で、1,574千円の収入未済額となっている。また、その他の収益は調定額3,695千円に対し、収入済額が314千円で、3,381千円の収入未済額となっている。

支出については、予算現額167,645千円に対し、支出総額160,448千円で、執行率は95.7%（前年度94.6%）となっている。

(2) 損益計算書の比較

収入金額78,303千円となっており、前年度94,676千円と比較すると16,373千円落ち込んでいる。これは、水道料金の引き下げによるものと説明を受けている。

費用では、減価償却費が66,669千円となっており、赤字となる原因の一因となっている。

(3) 貸借対照表の比較

昨年は排水池の築造工事等があり、固定資産となる構築物が157,773千円、車輛運搬具が8,672千円増えた。

流動資産の未収金が42,018千円となっており、昨年の23,928千円に比べ18,090千円増えた。未収金の内訳として、水道料金が単年度で1,574千円（消費税込み1,654千円）、繰越で19,234千円、合計20,808千円となっている。その他は、補助金17,092千円、消費税の還付金505千円などとなっている。

企業債は807,965千円となっており、前年度の862,073千円と比較すると54,108千円減少している。

○ 決算を通しての意見（むすび）

収入未済額については、運用基金・水道事業会計を含めると別添資料1のとおり498,187,677円となっており、昨年度よりも10,667,656円増加している。

また、時効等により不納欠損した金額も別添整理表（資料2）のとおり44,052,791円にのぼり、過去3年間では1億2千万円以上処理されている。

収納環境が年々厳しさを増す状況にあるが、苦しい中でも義務を果たしている納税者などとの公平性からも、庁内の「町税等収納対策会議」、県の「秋田県滞納整理機構」など、あらゆる方法を駆使し、収納活動を展開され、収入未済額の減少に努めるよう強く要望する。

特に公共下水道会計については、平成22年2月に策定された「三種町公共下水道事業経営健全化計画」に則した適切な対応をされたい。

町単補助金等については、町の限られた財政の一部である。このことから、交付された団体等においては、有効かつ効率ある使用を望む。

収入未済額集計表

(単位：円)

項目	20年度	21年度	22年度
一般会計	213,536,189	225,619,872	235,035,350
町民税 個人	44,219,026	47,783,523	53,659,142
町民税 法人	1,395,400	1,621,300	2,215,200
固定資産税	139,914,032	151,077,662	155,745,677
軽自動車税	4,163,800	4,478,500	4,242,800
入湯税	1,189,750	0	0
農地災害復旧費分担金	1,928,832	1,661,537	1,661,537
養護老人ホーム入所負担金	333,545	333,545	333,545
保育所負担金	2,428,033	2,354,568	2,439,488
町営住宅使用料	6,669,800	6,273,800	5,307,500
督促手数料	57,400	0	0
デイサービス等利用手数料	17,300	17,300	17,300
ごみ袋販売手数料	25,200	0	0
土地貸付料	21,968	0	0
延滞金	685,820	685,820	0
住宅整備資金貸付金	1,459,353	1,386,152	1,300,511
災害援護資金貸付金	1,095,400	999,400	969,400
給食費負担金	7,915,030	6,935,765	7,134,695
児童クラブ登録料	16,500	11,000	6,000
八竜商工会電気料	0	0	2,555
国民健康保険事業特別会計	129,673,660	122,905,109	117,383,615
一般国民健康保険税 医療費	101,680,183	92,913,620	86,145,666
一般国民健康保険税 介護費	14,895,321	14,040,999	13,288,116
一般国民健康保険税 支援費	5,187,373	9,466,919	11,624,772
退職国民健康保険税 医療費	6,591,142	5,171,345	4,997,395
退職国民健康保険税 介護費	1,031,579	859,569	784,578
退職国民健康保険税 支援費	221,962	414,757	543,088
督促手数料	28,200	0	0
延滞金	37,900	37,900	0
返納金	0	0	0
後期高齢者医療特別会計	660,700	979,600	1,100,500
普通徴収保険料	660,700	979,600	1,100,500
簡易水道事業特別会計	4,128,090	4,372,330	3,250,940
水道使用料	4,128,090	4,372,330	3,250,940
公共下水道事業特別会計	80,789,663	81,865,163	86,098,533
下水道分担金	35,490,170	37,603,280	39,568,440
下水道使用料	37,742,593	36,704,983	38,973,193
延滞金	7,556,900	7,556,900	7,556,900
農業集落排水事業特別会計	6,981,010	5,812,590	5,827,290
農業集落排水分担金	6,498,000	5,283,600	5,283,600
農業集落排水使用料	483,010	528,990	543,690
介護保険事業特別会計	5,625,325	5,163,654	5,563,236
普通徴収保険料	5,625,325	5,163,654	5,563,236
温泉事業特別会計	14,871,270	14,611,960	16,783,620
温泉使用料	8,673,470	8,414,160	10,585,820
延滞金	6,197,800	6,197,800	6,197,800
運用基金	4,774,000	5,134,000	6,257,000
奨学貸付基金貸付金	4,774,000	5,134,000	6,257,000
水道事業会計	22,732,265	21,055,743	20,887,593
水道料金	20,301,865	18,629,143	18,460,993
延滞金	2,430,400	2,426,600	2,426,600
合計	483,772,172	487,520,021	498,187,677

(三種町監査委員)

資料2

平成22年度不納欠損額整理表

(単位：円)

区 分	金 額
一般会計	22,708,974
町民税 現年分 (1人・1件)	61,336
町民税 滞繰分 (174人・174件)	4,101,787
固定資産税 現年分 (10人・10件)	1,178,100
固定資産税 滞繰分 (341人・341件)	16,043,531
軽自動車税 滞繰分 (118人・118件)	638,400
延滞金 (固定資産税) (10人・15件)	685,820
国民健康保険事業特別会計	19,338,799
国保税 現年分 (1人・1件)	70,100
国保税 滞繰分 (231人・231件)	19,230,799
延滞金 (3人・3件)	37,900
後期高齢者医療特別会計	85,900
保険料 滞繰分 (6人・6件)	85,900
介護保険事業特別会計	1,919,118
保険料 滞繰分 (115人・439件)	1,919,118
合 計	44,052,791

年度別 不納欠損額

年度	金額
22	44,052,791
21	34,258,450
20	42,988,697